

---

# 2018年度第1四半期 決算説明会資料

---

2018年8月3日

**日新製鋼株式会社**

# 2018年度第1四半期 決算の概要



# 2018年度第1四半期決算

## 概況

- ✓ 当第1四半期の連結売上高は1,514億円、連結経常利益は7億円と、対前年同期比で+27億円の増収、▲39億円の減益
- ✓ 実力経常損益については、原料市況の上昇に伴い2Qへの価格転嫁のズレ(▲47億円)が生じたこと等により、▲21億円の経常損失
- ✓ うち普通鋼・特殊鋼については、マージンの改善等により対前年同期比+11億円の増益となったものの、▲13億円の経常損失
- ✓ うちステンレスについては、販売品種構成差やグループ会社の減益等により、▲8億円の経常損失(対前年同期比▲18億円)
- ✓ 主副原料価格や副資材価格の上昇に伴うコストアップに関しては、自助努力を上回る部分についてお客様の理解を得つつ、販売価格の見直しに取り組んだ。

# 2018年度第1四半期決算

(億円)

		No	2018年度 4-6月期 a	2017年度 4-6月期 b	差異 a-b
売上高		1	1,514	1,487	27
営業利益		2	▲ 2	36	▲ 38
経常利益	普通鋼	3	▲ 6		
	特殊鋼	4	▲ 3		
	小計	5	▲ 9	16	▲ 25
	ステンレス	6	16	30	▲ 14
	計	7	7	46	▲ 39
親会社株主に帰属する 当期純利益		8	11	32	▲ 21

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	9	4	40	▲ 36
	ステンレス	10	24	20	4
	計	11	28	60	▲ 32

## <実カベース>

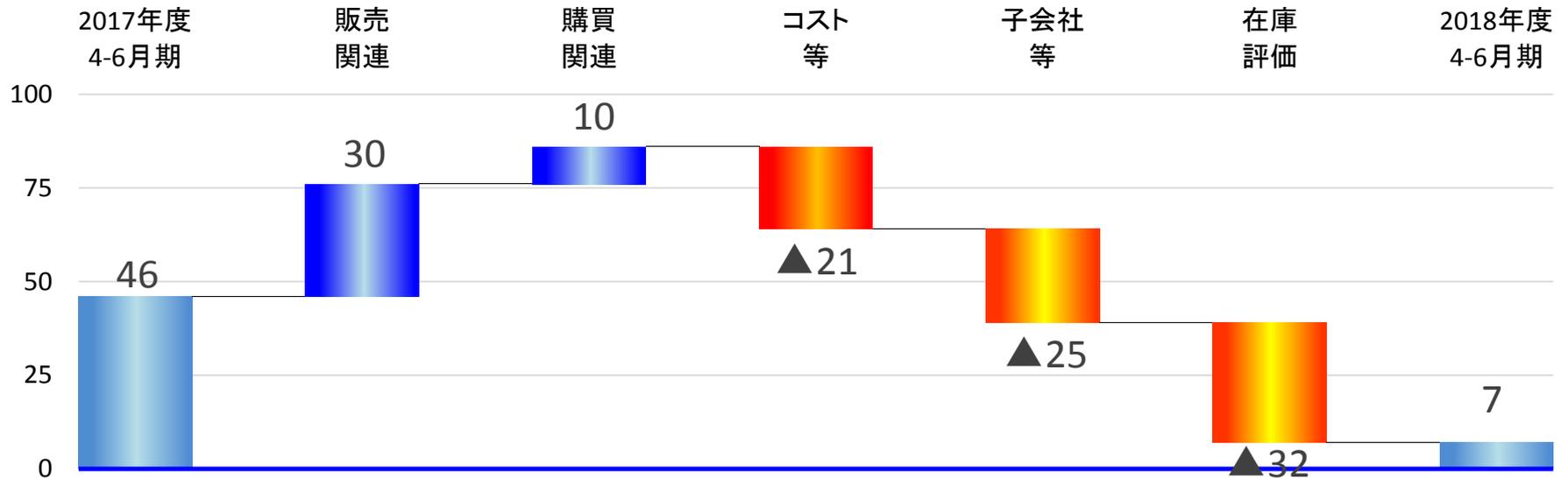
経常利益	普通鋼・特殊鋼	12	▲ 13	▲ 24	11
	ステンレス	13	▲ 8	10	▲ 18
	計	14	▲ 21	▲ 14	▲ 7

# 2018年度第1四半期諸元

		No	2018年度 4-6月期 a	2017年度 4-6月期 b	差異 a-b
粗鋼生産量  (万トン)	普通鋼	1	57	62	▲ 5
	特殊鋼	2	11	10	1
	小計	3	68	72	▲ 4
	ステンレス	4	17	17	0
	計	5	85	89	▲ 4
販売数量  (万トン)	普通鋼	6	63	64	▲ 1
	特殊鋼	7	12	11	1
	小計	8	75	75	0
	ステンレス	9	13	13	0
	計	10	88	88	0
鋼材平均単価 (千円/トン)		11	128	126	2
輸出比率 (金額ベース, %)		12	13	16	▲ 3
輸出為替レート (円/ドル)		13	109	111	▲ 2

# 経常利益差異内訳

## 2017年度4-6月期(実績):2018年度4-6月期(実績)



(億円) (内普・特) (内ステンル)

2017年度4-6月期 (実績)		46	変動要因	16	30
変動要因	販売関連	30	価格差 45、数量構成差 ▲15	15	15
	購買関連	10	鉄鉱石 5、石炭 15、ニッケル原料 ▲25、加ム 20、その他 ▲20、輸入為替差 15	25	▲ 15
	コスト等	▲ 22		▲ 19	▲ 3
	子会社等	▲ 25	海外関係会社等	▲ 10	▲ 15
	在庫評価	▲ 32	60→28 (うちステンル 20→24)	▲ 36	4
	計	▲ 39		▲ 25	▲ 14
2018年度4-6月期 (実績)		7		▲ 9	16

# 貸借対照表(2018年6月末)

(億円)

		対'18/3末	主な内訳
現預金	136	▲ 11	
売上債権	621	▲ 30	
たな卸資産	1,615	95	
その他流動資産	172	▲ 34	
有形・無形固定資産	2,908	▲ 45	有形・無形固定資産取得18
投資等	1,593	▲ 46	
資産合計	7,048	▲ 71	

有利子負債	2,281	41	
その他の負債	2,354	▲ 47	
負債合計	4,635	▲ 5	
資本金・資本剰余金	1,063	—	
利益剰余金	893	▲ 5	親会社株主純利益11、配当△16
自己株式	▲ 5	▲ 0	
その他の包括利益累計額	323	▲ 56	為替換算調整勘定△38
非支配株主持分	138	▲ 4	
純資産合計	2,412	▲ 65	
負債・純資産合計	7,048	▲ 71	

# 2018年7月豪雨による影響 および業績見通しについて

## 概況

- ✓ 2018年7月に発生した豪雨の影響により、呉製鉄所への工業用水（広島県工業用水）の供給が停止したため、種々工程において一時的に間欠操業や操業停止を実施
- ✓ 自家発電設備の一部において、工業用水供給停止による影響でボイラーならびにタービンの損傷が発生
- ✓ 業績への影響としては、操業の一時的な低下に伴うコストアップ、自家発電設備損傷による購入電力の増加、設備の補修費、復旧費用等が発生。  
金額に関しては、自家発電設備の復旧方法の検討をはじめ、現在算定中ではあるが、100億円を超える損失が発生する可能性あり。
- ✓ 2018年上期および通期見通しについては、今般の豪雨影響もあり、現時点では合理的に算定することは困難。今後合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定。

# 剰余金の配当

- ◆ 当期の配当については、現時点で未定。  
配当予想額の開示が可能となり次第、  
速やかに開示。

## 【利益配分に関する基本方針】

連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえた株主還元を実施する方針とする。「利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間30%を目安とする。

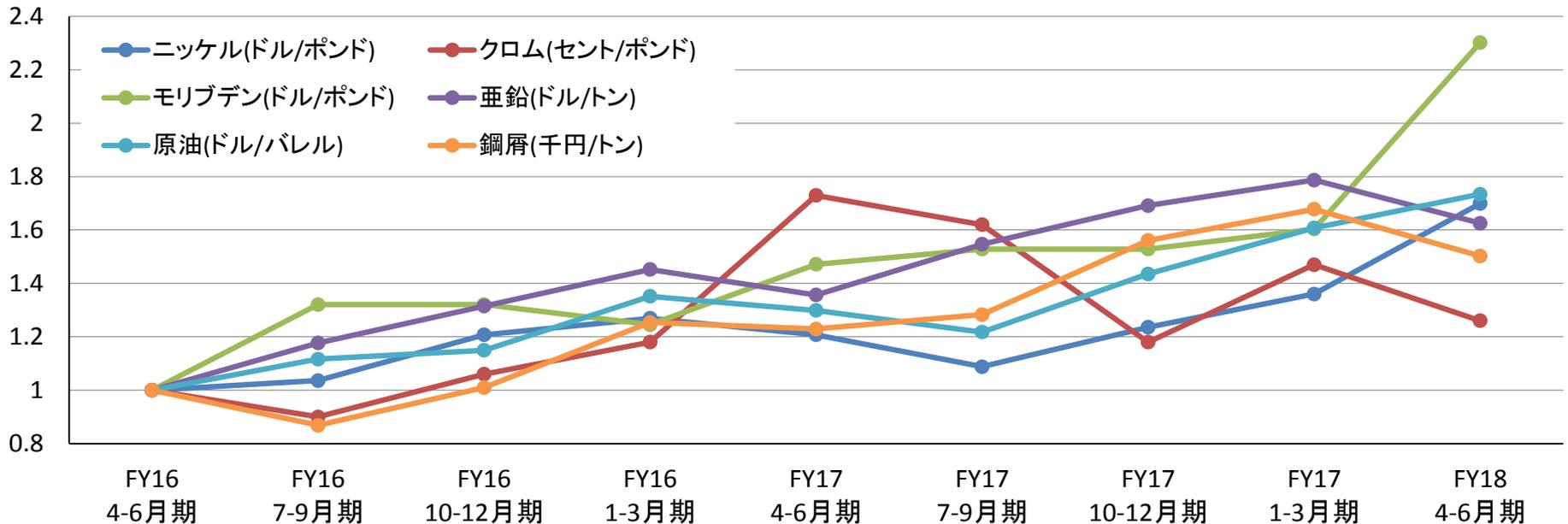
(ご参考)  
主要データ



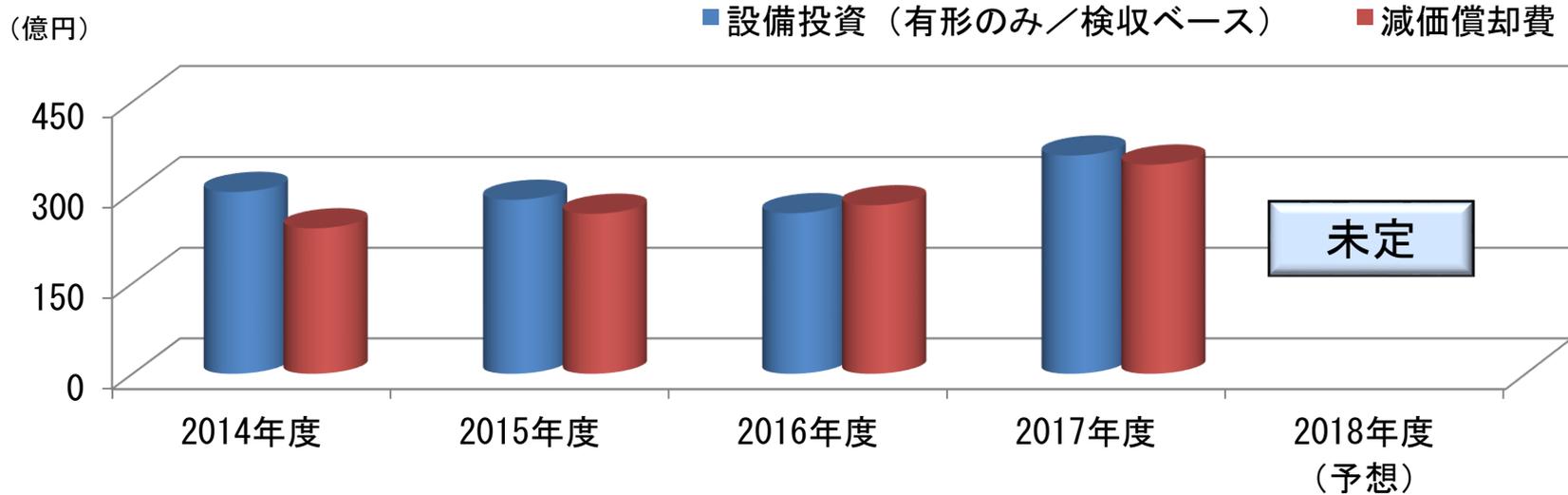
# 購買市況(適用ベース)

	2016年度					2017年度					2018
	上期		下期			上期		下期			年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	平均	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	平均	4-6月
ニッケル(ドル/ポンド)	3.86	4.00	4.66	4.90	4.36	4.66	4.20	4.77	5.25	4.72	6.56
クロム(セント/ポンド)	100.0	90.0	106.0	118.0	103.5	173.0	162.0	118.0	147.0	150.0	126.0
モリブデン(ドル/ポンド)	5.3	7.0	7.0	6.6	6.5	7.8	8.1	8.1	8.5	8.1	12.2
亜鉛(ドル/トン)	1,915	2,254	2,518	2,781	2,367	2,598	2,962	3,240	3,422	3,056	3,113
原油(ドル/バレル)	39.5	44.1	45.4	53.4	45.6	51.3	48.1	56.7	63.5	54.9	68.5
鋼屑(千円/トン)	20.5	17.8	20.7	25.7	21.2	25.2	26.3	32.0	34.4	29.5	30.8

購買市況の推移 (2016年度4-6月期を1.00)



# 設備投資・減価償却費



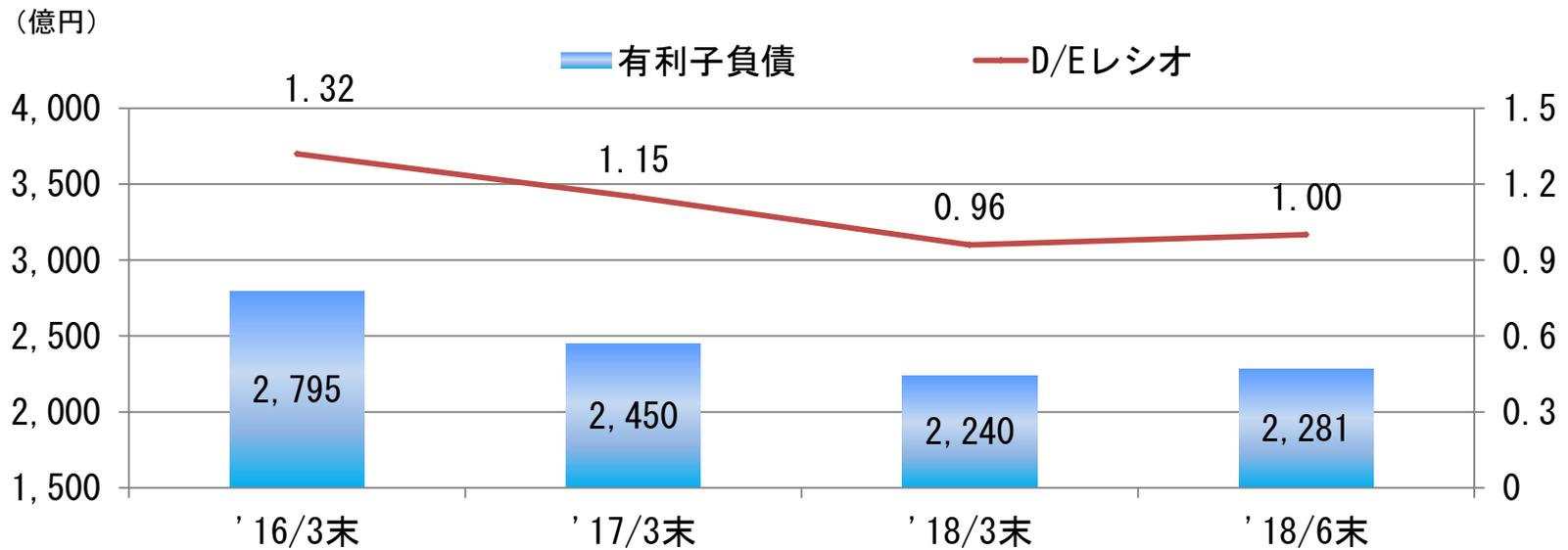
(億円)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 (予想)
設備投資	301	288	266	361	未定
減価償却費	241	265	279	346	未定

※設備投資額は有形のみ／検収ベース

(注) 2017年度より、減価償却方法を定額法から定率法に変更

# 有利子負債・D/Eレシオ



	'16/3末	'17/3末	'18/3末	'18/6末
有利子負債(億円)	2,795	2,450	2,240	2,281
D/Eレシオ	1.32	1.15	0.96	1.00